



株式会社 エスポ

〒252-0812

神奈川県藤沢市西俣野 1346-4
TEL 0466-82-1007 / FAX 0466-82-7261

<http://www.espo.co.jp>

Company data

代表取締役 田野 和子 [写真左]

夫の設立した(株)エスポを支え、現在は同社の代表取締役を務めている。創業者でもある夫が他界した後、会社を存続させることを第一としながら、顧客が満足する仕事を現場が提供できるようサポートしている。

工場長 田野 大輔 [写真右]

父親の立ち上げた(株)エスポで父と共に働きながら、現場で仕事を覚える。経験を積み上げる過程で先代の考えを理解できるようになり、現在はその想いを胸に、ものづくりに携わっている。

Personal data



より高みを目指した挑戦を 引き継がれるものづくりの血

駒田 御社ではパーツフィーダーの設計から製作、修理、メンテナンスまでを一貫して手がけていると伺いました。

田野(大) 弊社は製造メーカーではないので、各メーカーの良い面を取り入れながらクライアントに最適な提案ができるというのを強みとしています。また、小規模ならではの迅速さ、また細やかな対応ができるというのも大きな武器だと考えています。大手なら断らざるをえない案件や、納期についても柔軟に対応できます。現場の私たちにとっても、即断即決できる環境がありますから、仕事に対して面白さだけでなく大きなやりがいも感じます。

駒田 大手にはないスピード感が強みというわけですね。ところで、創業当時について伺ってもよろしいですか？

田野(和) 創業したのは主人ですが、景気の良かった時に独立しましたから、タイミングとしては恵まれていたと思います。ところが主人が他界し、それからの体制づくりには苦勞しました。残された従業員とその家族を路頭に迷わせるわけにもいきませんし、主人が遺した会社を守りたいという気持ちがあったものですから、「廃業」という選択肢は頭にありませんでした。現在、代表は私になっていますが、現場は息子に託して後ろからのサポートに徹しています。

駒田 大変な苦勞があったのだと思います。では、息子さんから見た先代はいかがでしたか？

田野(大) 父と仕事をしていた時は繁忙期になれば寝る暇もなく、「なぜ、こんなに多くの仕事を受注するのだろうか

か」と、何度も思ったものです。しかし、こうして私も経営に携わるようになり、父の考えていたことが理解できるようになりました。仕事を頂けるということに感謝し、クライアントの期待に応える仕事がしたいと自然に思うようになったのです。

駒田 先代の想いは、しっかりと二代目に受け継がれているわけですね。

田野(大) そうかもしれません。それと同時に、ものづくりに携わる者としての喜びも感じるようになりました。大手が断るような難しい案件に取り組み、無事に納品を済ませた時などは何とも言えない達成感に満たされます。難易度が高くても、クライアントの要望がある限りは全力で取り組むというチャレンジ精神を大切にしていきたいですね。

駒田 景気に影響されやすい製造業、逆境に負けず頑張ってください。

田野(大) ありがとうございます。近年、大手メーカーが工場を海外に移転させることが問題視されています。海外の安い製品は確かに脅威だと感じますが、私は多少価格差があってもそれ以上の品質を提供できれば、海外と勝負できると考えています。そのためにもしっかりと時流を掴み、業務内容を拡大するなどして柔軟に対応していきたいですね。



Guest Comment

駒田 徳広(野球評論家)

メジャーリーグに挑戦するプロ野球選手が増えているのと同じように、日本のものづくりの技術が海外に出てしまっていることを危惧しています。ですが田野親子と話すことで、「日本人らしさ」を追求していけば海外とも対等に戦えるのだと気付かされました。